

きたのこだより



札幌市立あつべつきた幼稚園 令和7年3月発行 第4号
白石区は『きくもとパワー』（研究便り）として、同じ内容を発信しています。

今年度、あつべつきた幼稚園では“伝えよう！聞いてみよう！誰かとやるともっと面白い！”をキャッチフレーズに「一人一人が自分の力を発揮し、互いに育ち合うための環境の構成と援助」について『北翔大学 教育文化学部 教育学科の准教授 工藤ゆかり氏』をアドバイザーに迎え、研究を進めてきました。



3年研究の3年目として取り組んできた内容について報告いたします。

札幌市立あつべつきた幼稚園の研究

- 研究主題 質の高い幼児教育の実現に向けて ～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～
- 研究の重点 「一人一人が自分の力を発揮し、互いに育ち合うための環境の構成と援助」
～個々の力が響き合って、さらにパワーアップ！～

（あつべつきた幼稚園 話合いのポイント）
～伝えよう！聞いてみよう！誰かとやるともっと面白い！～

～このような事例の様式で話合いを重ねてきました～（一例）

誰かとやるともっと面白い！

年長（R7年1月～2月）

オニのおにごっこ遊び

紫のオニにしようって



先生のはマックの袋だったよね

〈幼児の姿〉

・冬休み明けに、教師を鬼にして鬼ごっこが始まった。教師がお面をかぶって追いかけると、いつも以上に喜んで走り回っていた。

〈教師の見取り・思い〉

○お面をかぶっていつもと違うだけでこんなに楽しめるんだ・・・ もうすぐ豆まきがあるから、子どもたちも鬼のお面を作ったらいいかも!!
○よし、みんなが取り組みやすいように学級活動でお面制作をしよう!

〈環境構成・教師の援助〉

- ・学級活動で取り組む。必要な材用や用具の準備。
- ・子どもからのアイデアや要求に合わせて材料などの提示。

ツノはポップコーン（芯）で作りたい!



〈幼児の姿〉

- ・お面ができるとかぶって走ったり、他の先生に見せに行ったりしていた。
- ・♪オニのパンツ♪の歌の話からオニの服を作りたいくなり、スカート作りが始まった。こん棒やアスレチックなど、それぞれにイメージを膨らませ、ときには気持ちが高揚して言い合いになりながらも、遊びが継続している。

〈教師の見取り・思い〉

- 「遊びが面白い!」「これがあつたらもっと楽しい!」というイメージや思いをもち、これまでの経験を生かして作って遊ぶ姿がいいなあ・・・
- 遊びが継続するために、時々言葉を掛けて、一人の思いが暴走しないようにしていこう!

私もオニのスカート作りたい!



オニは棒をもって
いるよね



細い棒を作り
たい!
だって、細い方
が強いから!



アスレチック楽しい!



ゴールをここにしてもいい?

〈話し合いのポイント〉

- ・研究のポイント(誰かとやるともっと面白い!)に近付いている幼児の姿はどんなところかな?
- ・現在の姿につながったと思われる、経験や環境の構成、教師の援助について考えてみよう!

個別探究と協働探究を行ったり来たりしながら、個々と集団の遊びが深まっていく。

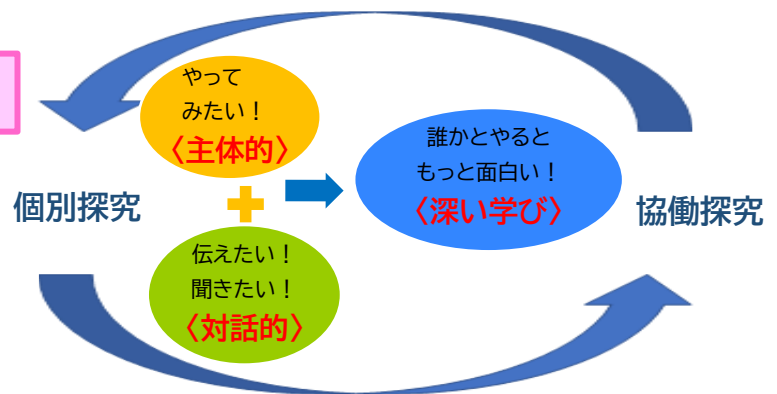
今年度わかってきたこと

- ◎一人一人の“やってみよう!”を幼児が自分なりに実現できるように支える。(個々の力の発揮・主体的)
- *個々の幼児の思いを認め、実現させることで一人一人がじっくりと探究する姿が見られた。

<個別探究>

- ◎友達とのつながり(互いに育ち合う・対話的な姿)を深める援助。
- *友達の遊びや発想に気付き、互いに伝えたり聞いたりできるように支えることで、自分以外の思いや考えを認めたり受け入れたりしながら、一緒に遊ぶ姿(誰かとやるともっと面白い!)が見られた。

<協働探究>



- ◎園内外の環境(人的、物的)を取り入れながら、保育を計画していく。

*いろいろな刺激を受けることで、「こんなこともできる!」という経験の広がりや、たくさんの“やってみよう!”につながる姿が見られた。

3年間の研究のまとめにつきましては、後日配布させていただきます研究紀要『あつきたの Challenge 少人数 de 育ち合う』をご覧ください。

きくすいもとまち幼稚園の研究

研究の流れ

★昨年度の研究から「一人一人の個の学びを大切にしながら、それを個で完結するのではなく、友達との関わりの中で発揮し合うことで更に大きな学び、育ちになるのではないか」という点が挙げられました。そこで、今年度は研究の重点を上記のように設定し、まずは研究の重点の「一人一人が自分の力を発揮し、互いに育ち合う姿」とはどのような姿かを、職員内で話し合いました。

- 
- ・興味をもつ
 - ・繰り返し楽しむ ・なぜ?と思う
 - ・絶対これをしたい!と実現する
 - ・じっくりと見る、観察する

- 
- ・友達を誘う、交渉する
 - ・友達と思いや考えを伝え合う
 - ・友達と考えやイメージを共有したり、共感したりする

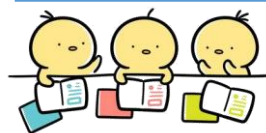
- 
- ・友達や先生のことを見ている、真似る、触発されてやってみる
 - ・難しいことに挑戦する
 - ・工夫、試行錯誤する

- 
- ・自分の気持ちに折り合いをつける
 - ・友達を助けたり励ましたりする
 - ・困った時に自分たちで解決しようとする

★これらの姿を意識して保育を行い、事例を中心に「一人一人が自分の力を発揮し、互いに育ち合う姿」について話し合い、姿に繋がるための“環境の構成と援助”と“必要な経験”について話し合いました。



夏祭り花火大会 (年長)



動物のおうちごっこ (年少)



★研究を通して、「個の学び」と「集団での学び」が一体的に行われていることが再確認されました。

育ちのために必要な「教師の環境構成と援助」と、育ちを感じた時に「幼児が経験していたこと」と併せて、以下のようにまとめました。

分かったこと

環境の構成・援助

- ・一人一人の楽しみ方を保障し、それぞれが楽しめる環境を構成する
- ・互いが見えるように環境を構成したり、拠点を作ったりする
- ・自分で試したり工夫したりすることを大切にする
- ・自分(たち)でやっていると感じられるようさりげなく支える
- ・幼児が「こうすればいいんだ」と思えるよう、教師がモデルとなったり提示したりする

さらに**パワーアップ!**するために

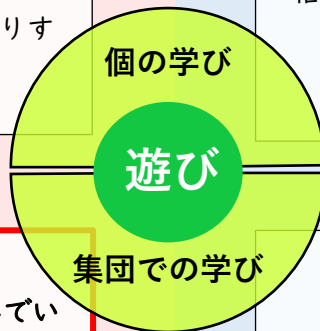
- ・個々を認め、良さを周りにも伝える
- ・ねらいに応じて周囲の友達を巻き込んでいく
- ・共有できる話題や、イメージの共有化を図る
- ・友達と一緒にだからこそ楽しめる遊びを投げかける
- ・友達に思いを伝えたり、気付いたりできるよう仲立ちをする
- ・トラブルも大切にし、状況が分かるように仲立ちしたり、解決ができるように話し合いの場を設けたりする
- ・教師間で実態やねらいを共有した上で、必要な言葉を掛けたり、あえて見守ったりする

必要な経験

- ・安心して自己発揮する
- ・達成感やじつくりと楽しむ満足感を味わう
- ・ありのままの気持ちを出せる
- ・「やりたい」と思ったことを出す
- ・成功体験
- ・色々な遊び方や楽しさを知る
- ・繰り返し楽しむ、夢中になって遊び込む
- ・予測、実行、気付きを積み重ねる
- ・粘り強く取り組み、やり遂げる喜びを感じる

さらに**パワーアップ!**

- ・“こんな風にしたい”と憧れの気持ちや意欲が沸く
- ・友達と目的を共有する
- ・友達と一緒に考える
- ・友達と楽しさを共有する
- ・友達と切磋琢磨する
- ・友達を気にかける、励ます(気にかけてもらえた・励まされた)
- ・友達に認めてもらえる
- ・もめごとも含めて、友達と思いを伝え合い、解決したり実現したりする
- ・みんなで目的の実現に取り組む





白石区のきくすいもとまち幼稚園と



今年度の研究のまとめについて話し合いをしました！

両園で共通してわかってきたこと

- ◎成功体験だけではなく、失敗や試行錯誤する経験も深い学びになる。
- ◎友達の良い考えに、自分の良い考えを重ねていくことで、さらに良い考えが生まれ、遊びの深まり
- ◎友達と関わる中で自分の表し方を知ったり、相手を認める・相手に認めてもらえる経験をしたりし、それが育ち合う姿につながる。
- ◎“自分たちでしているから主体的”と捉え、全て幼児に任せてしまうのではなく、“今ここを育てたい！”と教師が意図・ねらいをもって介入することでより深い学びにつながる。
- ◎“ここが育ってほしい”と教師が保育の中で無意識にしている環境の構成や援助を可視化していくことで「この遊び(学び)をさらに深めていくためには？」と教師間で共有していくことができる。



〈白石区・厚別区研究実践園 研究アドバイザー〉
北翔大学 教育文化学部 教育学科 准教授 **工藤 ゆかり先生**

- ◎“幼児の何を育てるために”という意図・ねらいは保育者の魂の部分である。意図をしっかりとって環境の構成と援助をしていくことが最も大切なことである。
- ◎研究の重点“一人一人が自分の力を発揮して”の部分は自己理解であり、“互いに育ち合う”の部分は他者理解である。双方とも社会で生きていくために必要なことである。





令和7年4月から市立幼稚園は**5園体制**となります



今後も変わらず…



▶幼児教育の考え方を共有

→研究実践園である核となる5園と認定こども園にじいろが図の色分けしているペア区へ実践研究で分かったことを発信・共有します。

▶公開保育を活用した研修

→幼児教育施設と小学校が共に学べる機会をつくれます。(実践発表会 等)

▶訪問研修

→核となる5園がペア区の申込や園・校内研修に関わる相談に対応します。

二次元コード→



幼児教育センターHP URL

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoku/yousenn/kennkyuu.html>

YOGEN

●●研究のまとめパンフレットを作成しました●●

研究実践園が3カ年計画で取り組んできた保育実践研究のまとめの年となりました。この研究に取り組んだ10園の保育実践を紹介するパンフレット『つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～市立幼稚園・認定こども園が取り組んだ5つの保育実践研究～』を作成しました。市内幼児教育施設や小学校に3月末に送付いたします園・校内研修などにご活用いただけると幸いです。

また、実践研究の詳細や成果等は各園のHPで発信していますので、ぜひご覧ください。

【研究副主題テーマ】

豊平区・清田区
多様な教育・保育環境
(長時間保育の実践)

白石区・厚別区
遊びを通した
幼児期の学び

●研究のまとめパンフレット



北区・東区
幼保小連携・接続

西区・手稲区
特別支援教育

中央区・南区
家庭教育支援